

## JR 西日本・JR 九州・佐川急便での貨客混載輸送の検討について

西日本旅客鉄道株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:長谷川 一明、以下「JR 西日本」)、九州旅客鉄道株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:青柳 俊彦、以下「JR 九州」)、佐川急便株式会社(本社:京都府京都市、代表取締役社長:本村 正秀、以下「佐川急便」)は、受託した荷物を山陽・九州新幹線で運ぶ貨客混載輸送の事業化に向けた検討を開始し、今後実証実験等を進めてまいりますので、お知らせいたします。

JR 西日本・JR 九州・佐川急便は、新しい時代に相応しいサービスの実現と社会課題の解決に向け、今後も連携しながら挑戦を続けます。

### 1. 検討の目的

定時性・速達性・ネットワーク性等の高さを活かした鉄道輸送により、新しい価値の創出を目指します。

### 2. 検討中のスキーム

佐川急便の荷物を山陽・九州新幹線の車内販売準備スペースに設置し、輸送します。駅間輸送は、JR 九州区間(鹿児島中央～博多)は JR 九州グループが、JR 西日本区間(博多～新大阪)は JR 西日本グループが請け負います。また、集荷先から駅まで、駅から配達先までの輸送は佐川急便が請け負います。



※博多駅-鹿児島中央駅間の貨客混載輸送は、JR 九州・佐川急便の二社で事業化済み  
 ※今後、JR 西日本・佐川急便にて新大阪駅-博多駅間での事業化も検討予定

### 3. 実証実験について

2021年10月1日(金)に、鹿児島中央駅から新大阪駅に活車海老を輸送する実証実験を実施します。

本件プレスリリースは、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブ、国土交通記者会、九州 JR 記者クラブにお届けしています。

今回ご案内の取り組みは、SDGs 目標の 8 番、11 番、13 番に貢献するものと考えております。

